日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2012. 02. 17

No.12-018

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

日本航空 2011 年 4-12 月の連結業績
営業利益 1616 億円

2011 年度（2012 年 3 月期）決算予想 1800 億円
（400 億円上方修正）

当初の連結営業利益目標は 757 億円

2011 年 4～9 月連結業績が 1061 億円となり、
予想を 1400 億円に上方修正

そして今回、
連結営業利益目標 1800 億円に再上方修正

リスク耐性も十分に強化

2 月 2 日に日本航空は 2011 年 12 月期決算を発表しました。
震災やタイの洪水などのへのリスク耐性が強化されている事を示し、
2011 年度利益も昨年並みの 1800 億円を予想しました。

当第 3 四半期、
グループ連結売上高 9,091 億円、 営業費用 7,474 億円、 営業利益 1,616 億円、
経常利益 1,560 億円、 四半期純利益 1,460 億円。

2012 年 3 月期の連結業績予想、
売上高 1 兆 1,900 億円、 営業利益 1,800 億円、 経常利益 1,700 億円、
当期純利益 1,600 億円。

毎日新聞の記事より

日本航空：営業益１８００億円に上方修正

経営再建中の日本航空は２日、１２年３月期連結決算の業績予想を上方修正し、営業利益を１８００億円と従来予想より４００億円引き上げた。東日本大震災で一時的に落ち込んだ旅客需要が国際線の外国人客を除いて順調に回復し、今後も堅調に推移する見通しであることに加え、大規模なリストラや、需要変動に応じて使用機材や便数を柔軟に変更できる運航体制を構築するなど経営効率化を進めたことが奏功した。

１０年１月に会社更生法の適用を申請した同社は、０９年４～１２月期に１２０８億円の営業損失を計上。リストラ効果などで１２年３月期は７５７億円の営業利益を確保することを目標としていたが、上方修正は今度で２度目と、利益額は大幅に上ぶれる見通しとなった。売上高も従来予想より４００億円増の１兆１９００億円、最終（当期）利益も同じく４００億円増の１６００億円を見込む。

同日発表した１１年４～１２月期連結決算は、売上高が９０９１億円で、営業利益は１６１６億円だった。１５日に名誉会長に退く稲盛和夫会長は記者会見で、今秋にも実施する株式再上場について「当面の業績は良い状態だが、これを続けないと誰も投資してくれない」と話し、今後も収益重視の経営を続ける必要性を強調した。

産経新聞の記事より

日航と全日空、国際線好調で３月期決算を大幅上方修正

日本航空と全日本空輸の２０１１年４～１２月期の連結決算**が２日、出そろった。営業利益は、日本航空が前年同期比１・６％増の、全日空が同１７・３％増の９１１億円だった。国際線の好調なビジネス需要と、機材の小型化などのコスト削減策が貢献**

した。両社は今３月期の通期業績を大幅上方修正した。

今３月期の営業利益は、日航は従来予想を４００億円上回る１８００億円に、全日空も２００億円上回る９００億円にそれぞれ修正した。

日航の好業績を牽引したのは、需給に応じた増減便や機材の小型化だ。国際線では、１０月に発生したタイの洪水で旅客需要が減少したため、同国路線で減便を実施したほか、インド・デリー線を増便してビジネス需要を取り込んだ。

全日空も、採算性の高いビジネス需要が昨年６月に震災前の水準に回復したのを追い風に、２３年４－１２月期の国際線利用客数は前年同期比１０・８％増で、国内線の６・３％減に伴う収入減を補った。

ともに東日本大震災後は国内線が落ち込んだが、カバーした。

2011 年 9 月 30 日 客乗裁判 証人尋問での稲盛会長証言

〔稲盛会長〕さきほどあなたがおっしゃったように、165 名の方々の賃金というのは、年間で 20 億程度だとおっしゃったとおり、その時の会社の収益状況からいけば、誰が考えても、それは雇用を続けることは不可能ではないということは分かるでしょうねと、そういう意味で申し上げた。